

～スローガン～

翔 SHOU-TO

～テーマ～

～勇気ある決断～

第42号 2016. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎 編集責任者：上田康文 第42期広報委員会

雄飛



鳥取県西部中小企業青年中央会
第42期会長 竹ノ内 賢一郎

サンククリーン(株) 代表取締役
S 50年 5月生まれ
(中央会活動経歴)

H19年度入会
H21年度 副委員長 / H22年度 委員長 /
H23年度 県出向 / H24年度 専務理事 /
H25年度 県監事 / H26年度 副会長 /
H27年度 監事



ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第42期会長を務めさせていただきます。竹ノ内賢一郎と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当会は“英知・友愛・団結”を柱とする綱領のもと41年の歴史を重ねてまいりました。年度ごとに思いを込めたスローガンを掲げ、その思いを具現化するために会員一人ひとりがそれぞれの思いを込めながら、精一杯活動をされてきた歴史であろうかと思えます。

新たなスタートとなる第42期。スローガンは「翔人」、テーマを「勇気ある決断」とさせていただきます。

私が考える「翔」とは、この地域の大空を躍動的に大きな羽を広げて駆け巡る鷹のような、ダイナミックで誰が見ても勇ましい姿です。

力強く羽を広げる鷹も、生まれた時には、飛ぶこともできずに一歩ずつ歩みを始めます。一歩ずつ歩みはじめ、成長し大空に舞おうと飛び立つ時には、恐怖心と闘いながらも本能的に狩りに出るために大空へと飛び立

つとされています。我々若手経済人もこの目に見えない恐怖心と闘いながら、時に何らかの決断をしなければなりません。押すも引くも、その都度都度で己のことだけではなく、周囲のことを考え、リーダーとして最善の答えを決断する場面がくるのではないのでしょうか。

西部青年中央会という縁で仲間となった会員同士全員で、大きな羽を広げ大空を翔る人間になるために、勇気をもって議論し、活動し、決して楽な道ばかりではない道へも勇気をもって一歩を踏み出せるように成長する。その結果、会員ひいては西部青年中央会がこの地域の大地で、光輝くことができる1年間となるよう全力で歩いていく所存です。

たとえいばらの道であろうと、決して屈しない心意気と団結力でそれぞれが成長し、大きな翔人となるべく、会員一同全力で邁進していくことを決意申し上げ、甚だ簡単ではございますが私のご挨拶とさせていただきます。

1年間、何卒よろしくお願い申し上げます！

副会長・専務理事ごあいさつ



総務委員会担当 副会長 秋里武信

水道屋あきさと 代表
H21年度 入会/H24年度 副委員長/H25年度 委員長/H26年度 専務理事/H27年度 県出向理事

第42期副会長を務めます秋里武信でございます。担当は、高塚委員長率いる総務委員会です。委員会で初めの事業となる7月に行われた総会懇親会では、多数の御来賓とOB会員の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございました。今期、総務委員会では他団体交流会をはじめ、新年例会とOB交流会も担当させていただきますので、OB会員の皆様におかれましては高塚委員長の作り上げる事業に是非とも花を添えていただきますよう重ねてお願い申し上げます。副会長の意気込みとしましては、委員長に輝いていただく！それだけに没頭したいと考えております。どうぞ1年間よろしくお願ひいたします。



積善委員会担当 副会長 廣谷栄一

司法書士廣谷栄一事務所 所長
H19年度 入会/H23年度 副委員長/H25年度 県出向/H26年度 委員長/H27年度 副会長

この度、第42期鳥取県西部中小企業青年中央会の副会長を拝命致しました廣谷栄一です。担当委員会は積善委員会です。積善委員会の役目は、前年度・松田年度において企画実行された「お地藏さまフェスティバル」を今年度・竹ノ内年度においても継続実行成功させ、同フェスティバルが次年度以降においても開催され続けるようにすることです。

よって、積善委員会は、他の委員会に較べれば、成功が目に見えて分かり易いかも知れません。逆に、失敗も目に見えて分かり易い委員会といえるでしょう。勿論、高井委員長には、1年間失敗を恐れず積極的に向かって頂きたく思います。その分、私は、失敗しない委員会になるよう高井委員長並びに積善委員会を支えています。宜しくお願ひ致します。



匠委員会担当 副会長 浜田貴稔

有こめや産業 専務取締役
H25年度 入会/H27年度 委員長

第42期副会長を拝命し、匠委員会の担当をさせていただくこととなりました。経歴も浅く、私自身が勉強できる1年になろうかと思いますが、会長の思いと委員長の考えをしっかりと繋げていけるように努めて参りたいと考えております。

昨年は委員長という大役をいただき、沢山の経験をさせていただきました。少なからず私なりに事業構築や委員会運営など学んだことをアドバイスしながら、陰ながら正副委員長を支えていただいております。

この第42期匠委員会が、委員長を中心に高く優雅に翔け回り、皆が成長できる様しっかりとサポートしていきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願ひいたします。



政治ビジネス委員会担当 副会長 濱田 修

榎ホクシン 代表取締役専務
H16年度 入会/H22年度 副委員長/H24年度 委員長/H26年度 副会長

第42期副会長を拝命致しました濱田修です。担当委員会は政治ビジネス委員会となります。副会長の役割とは表舞台に出るようなものではなく、委員長がしっかりと活動ができるように、且つ、会の理事として、委員会の長として、その責務を全うできるように裏方でしっかりとサポートすることだと思います。とは言え、担当させて頂く田中委員長をはじめ、私より年上の会員は沢山おられますし、私自身が成熟している人間という訳ではありませんので、副会長であることの自覚を持って自己研鑽に努めることも必要だと感じております。何はともあれ、田中委員長にとって42期が素晴らしい1年になるように、また、活動を通じて竹ノ内会長の目に映る田中委員長の姿が、会長が思い描く今期スローガンの「翔人」そのものになるよう、そのサポートをしっかりと務めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願ひいたします。



広報委員会担当 副会長 上田康文

うえだイベント(株) 代表取締役
H19年度 入会/H21年度 副委員長/H24年度 委員長/H25年度 県出向/H26年度 県出向理事

第42期副会長を拝命致しました上田康文です。担当は広報委員会です。平成19年12月に当会に入会させていただき、8年間在籍しております。数多くの副会長の背中を見て参りました。入会当初は、会長はもちろん、副会長もとても大きく感じ、近づくことすら躊躇していました。中央会での多くの経験からそのような雰囲気を出されていたのだと思います。本当に憧れの存在でした。その先輩方に1歩でも近づけるよう、頑張って参ります。

そして、広報委員会として石原委員長、野口副委員長、委員会のメンバーで1年間中央会をアピールし、素晴らしい会だと多くの方に思っただけのよう一生懸命やらせていただきます。



翔女委員会担当 副会長 奥森秀夫

新和産業(株) 工事部統括部長
H23年度 入会/H25年度 副委員長/H26年度 県出向理事/H27年度 委員長

第42期副会長を拝命いたしました奥森秀夫と申します。担当委員会は吉田委員長、長谷川(恵)副委員長が率います翔女委員会です。委員会メンバーの半数が女性ということで、どのような委員会になるか今から楽しみにしております。竹ノ内会長が掲げられたスローガン「翔人」の1文字をいただいた委員会ということ肝に銘じ、副会長としての職務を全うしたいと考えております。委員会メンバーと共に汗を流し、委員長、副委員長をしっかりとサポートしていきたいと思っております。各委員長、各副委員長が1年後どんな顔で翔けまわっているか楽しみに1年間活動してまいりますので、引き続きご協力、ご指導宜しくお願ひいたします。



専務理事 兼 会計担当理事 福山輝展

日産プリンス鳥取販売㈱ 米子店営業課 課長
H22年度 入会/H26年度 委員長/H27年度 会計担当理事

第42期専務理事兼会計担当理事を拝命致しました福山輝展と申します。

竹ノ内会長から役のお話を頂いた時は大変驚き、自分にこの大役が務まるだろうかと非常に悩みました。

ただ、引き受けたからには、この1年間の活動が竹ノ内会長の掲げられたスローガン「翔人」・テーマ「勇気ある決断」をしっかり表現できるものとなるように、会の活

動を支えられるよう精一杯務めてまいり所存です。今期は委員会には所属しないということで若干寂しい気持ちもありますが、自分の役割を、責任を持って果たすことで自分の成長につながると信じてやっていきます。

また、会計担当は2年連続となりますが、こちらもしっかりと役目を果たしていきたいと思ひます。

1年間何卒よろしくお願い申し上げます。

委員長ごあいさつ



総務委員会

委員長 高塚康治

㈱富士オートメーション 常務取締役
H19年度 入会/H26年度 副委員長

本気 ～はじめの一步～

第42期総務委員会のテーマを「本気～はじめの一步～」と致しました。総務委員会は、来賓、OBをお招きしての大切な事業を企画運営致します。百戦錬磨のOBの方々にご満足頂く、本気のおもてなし。本気であるがゆえ、時には意見がぶつかることもあるかもしれません。失敗が許されない事業であるがゆえ、時には泥をかぶり、泥だらけになることもあるかもしれません。しかし、臆せず、はじめの一步を踏みだし、本気で相手と向き合えばこそ、翔ばたける人になれるのではないのでしょうか。私はこの1年、泥にまみれ黒子ならぬ泥子に徹します。総務委員会は42期竹ノ内会長年度を支えるという自負を持ち、活動致します。皆さん、1年間よろしくお願い致します！



積善委員会

委員長 高井賢一

㈱松友 統括マネージャー
H16年度 入会/H26年度 副委員長

Just Do It. (行動あるのみ)

第42期積善委員会の委員長を拝命致しました高井です。この「積善」という名前をいただき、自分のこれまでを振り返ってみると、善を積んだ記憶が全く思い浮かびません。この1年間、しっかり善を積んで参りたいと思ひます！

さて、今期の積善委員会では、テーマを『Just Do It. (行動あるのみ)』としまして、平成29年5月14日に予定しております『第2回お地蔵さまフェスティバル』のオール中央会での開催、そしてこのプロジェクトの継続化に向けて活動していきます。西部青年中央会では、トライアスロンを除いての継続事業は初めてとなります。次年度にバトンをつないでいけるよう、委員会メンバーとしっかり議論し進めていきたいと思ひます。1年間よろしくお願い致します。



匠委員会

委員長 村田 博

村田家㈱ 代表取締役
H25年度 入会/H27年度 県出向

『勇猛果敢』～未来への継承～

皆様、こんにちは！第42期竹ノ内会長より、匠委員会・委員長の職を拝命致しました村田博と申します。当委員会は、テーマを『勇猛果敢(ゆうもうかかん)』～未来への継承～と致しました。委員会の事業と致しましては、今まで先人たちが築き上げてこられました、地域の伝統技術・名産・文化の保護・継承について考察して参ります。私自身は入会歴が浅く経験も少ないですが、委員会メンバーは経験豊富な強者揃いで、とても力強く感じています。この仲間たちと共に1年間、色々な局面にて勇気ある決断をし、1年後には素晴らしい匠人になれるよう全力で取り組んで参ります。皆様、1年間よろしくお願い申し上げます。



政治ビジネス委員会

委員長 田中 猛

田中正夫建築設計事務所 米子事務所長
H25年度 入会/H27年度 副委員長

米子市中心市街地再考

第42期政治ビジネス委員会では、テーマを「米子市中心市街地再考」としました。

私が小さな頃は米子の中心市街地に多くの人が集まり、賑わっていました。しかし近年、どこの地方の街も同じように郊外に街が分散し、米子の中心市街地はご存知のとおり、日に日に衰退して行っています。

今後も我々の無関心や無見識がさらに米子の中心市街地を衰退させていくのではないかと考えます。そこで米子市中心市街地について今一度見つめ直し、どうしたら賑わいを取り戻していけるのかを委員会メンバーと一緒に考え、中央会全会員に向けて、米子市中心市街地への関心と見識を持って頂けるよう活動していきます。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。



広報委員会

委員長 石原 効

石原電気設備 代表
H21年度 入会/H24年度 副委員長

「懸け橋」

第42期広報委員会委員長を拝命致しました石原効です。

広報誌「雄飛」・「ハンサム」を通じて、当会の活動内容、会員1人1人が自身の更なる可能性に挑戦し、仲間と共に磨き合い成長する姿を諸先輩方・他団体の方に知っていただきたいと思ひます。そして、当会HPの管理・運営だけでなく、SNSを積極的に活用し中央会のPR活動を行いたいと思ひます。我々の作った広報誌、そしてHP、SNSを通じて会の枠を越え人と人を繋ぐことの出来る委員会活動を行いたいと思ひ、今期広報委員会のテーマを「懸け橋」とさせていただきます。皆さんが興味をもって読んでくださる広報誌・HPを委員会メンバーで一つ一つ大切に作っていきたく思ひますので、1年間宜しくお願い致します。



翔女委員会

委員長 吉田通代

米子ニューアーバンホテル レストラン運営管理者
H23年度 入会/H25年度 副委員長

「男耕女織」

第42期翔女委員会のテーマは『男耕女織(だんこうじょしょく)』と掲げさせて頂きました。「男性、女性それぞれが天から与えられた果たすべき仕事があり、男性が畑を耕し女性が機を織ることを仕事にするのは自然なことである」という意味が込められています。

女性活躍社会の実現に向け、女性が妊娠・出産・育児期間中であっても安心して働ける労働環境とは何かなど、社会における女性活躍の現状と課題を検証していきたいと思ひます。そして、現代における適材適所を考えながら真の女性活躍について学び、メンバー全員に実りある1年だったと実感してもらえる委員会にしていきたいと思ひます。精一杯笑顔で頑張りますので宜しくお願い致します。

平成28年度通常総会

平成28年7月15日(金)ホテルサンルート米子に於いて、平成28年度通常総会が開催された。



冒頭の挨拶で第41期松田会長が「昨年の今日、私は、それまでの人生で経験したことのない緊張に襲われるという貴重な体験ができました。そしてこの1年で本当に多くの事業を、皆さんのお力添えで成し遂げることができました。その結果、歴史ある中央会のバトンをつなぐことができたと思います。ここにいる皆が1人も欠ける事なく、第42期会長竹ノ内賢一郎を支え、もっと素晴らしい中央会をつくって下さい。最後に、本当に1年間ご助力を賜り誠にありがとうございました」と感想と感謝を述べられた。

続いて6月27日に第一子を授かった石原竜会員へ会長からお祝いが手渡された。次に、3名の新入会員(足立鷹大会員、細田雄治会員、白根和浩会員)へバッジ授与が行われた。

平成28年度通常総会の開催にあたり、第41期三輪副会長が議長に選任された。

第1号議案《平成27年度事業報告並びに収支決算承認の件》について、第41期長谷川(洋)専務理事から概要説明があり、満場一致で承認された。続いて第2号議案《平成28年度事業計画並びに収支予算書(案)承認の件》について、第42期福山専務理事から大山お地蔵様フェスティバル開催を含む実施事業・収支予算案の概要説明があり、満場一致で承認された。

続く特別功労賞授与式では、第39期会長を務められた渡辺一徳会員に、松田会長から感謝状と記念品が手渡された。



会員表彰では、精勤賞35名を代表し梅原雅明会員が、また皆勤賞28名を代表し新井翔太会員が、それぞれ壇上へ上がり表彰を受けた。

委員会表彰では、発表にあたり松田会長が「最優秀賞は実際に甲乙つけ難く、第3候補まで挙げたまま2〜3日前まで迷っ

ていました」と胸中を吐露された。

優秀委員会には地域活性委員会が選出され、足立(駿)委員長が「微塵も思っていませんでした。皆の努力が受賞に導いてくれたと思います」と感想を述べられた。



続いて最優秀委員会にはビジネス経営委員会が選出された。松井委員長が「1年を通じて委員会メンバーと副会長としてしっかり勉強してきたこと、しっかりと準備して例会に臨めたことが評価されたのだと思います」と喜びの言葉を述べられた。

こうして通常総会の閉会を以て41期松田年度は幕を閉じ、次の年度へと中央会のバトンが手渡された。

(記事:長谷川(貴))

卒会式

通常総会に続き41期卒会式が執り行われた。渡辺先輩・茅野先輩・荒川先輩・拝藤先輩・高野先輩・古谷先輩・長谷川先輩・松



尾先輩・西村先輩・三嶋先輩・伊坂先輩、以上11名がご卒会され、壇上で松田会長から卒会証書と記念品が贈られた。

現役を代表して松田会長が「この11名は個性の塊です。この11名が青年中央会から去るのは寂しさにあふれます。ご卒会された後も引き続き現役と繋がって頂いて、中央会・鳥取県西部地域の活性化と発展にご尽力頂きたい」と想いを込めて祝辞を述べられた。

続いて11名全ての卒会者の皆様から現役会員に向けてメッセージを頂いた。現役

時代の思い出や現役会員へのアドバイスなど、11名それぞれの個性を發揮され様々な角度から熱く語って頂いた。青年中央会という青春時代を駆け抜けられた先輩方の言葉は現役会員にとって、とても貴重なものであった。

卒会者から現役会員に目録贈呈が行われ、最後に卒会者の皆様の中央会での活躍を振り返る思い出深い映像が流れ、盛大な拍手に包まれ41期卒会式は幕を閉じた。

(記事:渡邊)

懇親会

総会・卒会式に続き、多数の御来賓・OB会員の皆様にご出席いただき懇親会が盛大に開催された。



冒頭、第42期竹ノ内会長が「先輩方から受け継いできた決して諦めない精神で、鷹のように大きな羽を広げて大空を飛び立って欲しいとの思いを込めて、42期のスローガンを『翔人』、テーマを『勇気ある決断』としました」と思いのこもった挨拶を述べられた。

続いて、鳥取県中小企業団体中央会専務理事田栗正之様、



鳥取県西部総合事務所所長中山貴雄様、鳥取県西部中小企業青年中央会OB会会長土井一朗様にご挨拶いただいた。



懇親会は、米子市長野坂康夫様の乾杯のご発声で始まり、歓談の場では、御来賓・OB会員の皆様の席へ現役会員が挨拶に伺い、名刺交換を積極的に行っている姿が数多くみられた。

そして、毎年恒例の皆生トリアスロン壮行会が行われた。選手の挨拶の後、応援団員から熱いエールが送られた。森下新応援団長が沢山の光る汗をかきながら奮闘する姿が印象的だった。

懇親会も中締め時間となり、鳥取県議会議長齊木正一様の万歳三唱で締めくくられた。

御来賓・OB会員の皆様をお見送りした後、11名の卒会者の皆様と新旧会長に現役会員から感謝を込めて恒例の胴上げを行い、懇親会は大盛況の中、閉会となった。

(記事:宮田)



鳥取県中小企業青年中央会 第42回通常総会

平成28年7月26日(火)、ホテルサンルート米子に於いて、鳥取県中小企業青年中央会第42回通常総会が開催され、西部の60名を含む140名の会員が参加した。



まず、第41期牧田県会長から挨拶があり、テーマ『縁を紡ぐ』、サブテーマ～「プライド」未来への第一歩～のもとで行った活動と、創立40周年記念事業の内容をひとつひとつ振り返るとともに感謝を述べられた。

続いて議長に選出された第41期松田県副会長の議事進行のもと、第1号議案(平成27年度事業報告並びに収支決算書承認の件)、第2号議案(任期満了に伴う新会長指名承認の件)、第3号議案(任期満了に伴う新役員指名承認の件)、第4号議案(平成28年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件)の全てが満場一致にて承認された。

そして、第42期松岡秀樹県会長から新年度のテーマ「心技体～県はひとつ!!我々はチーム県青中～」が発表され、力強く今年度への決意を述べられた。

通常総会終了後、来賓の皆様をお迎えて懇親会が開催された。

最初に県会長の鍵の引渡式が行われた。第41期牧田県会長から第42期松岡県会長



へ無事引き渡され、松岡県会長の挨拶では、今年度のテーマに込められた熱い思いが語られた。

次に、来賓の皆様を代表して、鳥取県西部総合事務所所長中山貴雄様、鳥取県中小企業団体中央会米子支所所長足立真治様から祝辞をいただいた。

続いて、足立真治様から第41期牧田県会長及び県副会長3名へ盾の贈呈が行われた。

乾杯のご発声も米子市経済部部長大塚寿史様より頂き、懇親会がスタートした。

アトラクションでは、1部で県新役員紹介、2部で各地区役員紹介、3部で西部三谷会員が所属するRainbow Carnivalによるベリーダンスが行われ、大いに盛り上がった。

懇親が深まる中、株式会社商工組合中央金庫米子支店支店長西田佳央様から中締めのご挨拶を頂き、盛会のうちに閉会となった。

その後、現役会員による2次会が行われ、110名と近年にない多数の参加者により賑わった。

個々にプライドを持った青年中央会メンバーがひとつになる瞬間であり、これぞ青年中央会といえる場面も数多く見受けられた。



(記事:赤井)



第36回 全日本トライアスロン皆生大会

平成28年7月17日(日)『第36回全日本トライアスロン皆生大会』が開催された。

事前の天気予報で雨や風の影響も懸念されていたが、当日は早朝から晴れと曇りが繰り返される好天に恵まれた。

午前6時。出場選手が続々とスタート地点に集合する中、会から出場する選手達の壮行会が行われ、新入会員から参加選手へ熱のこもったエールが送られた。

今年は個人の部で白石会員が出場。団体の部では秋里会員、土岐

OB、拝藤OBが「TSCチーム土岐」、後藤(公)OB、福庭OBが「たいてしまったもんだわ」で出場した。トライアスロンの選手達は、スイム3km、バイク140km、ラン42.195kmの鉄人レースに挑む。何事もなく無事にゴールすることが、何より大切なこと。

スタート前の新入会員による壮行会は当会の恒例行事となった。無事にゴールすることを願う思いを共有し、改めて会の団結力と友愛を感じさせる素晴らしい壮行会だった。

(記事:足立(匡))



完走お疲れ様でした！トライアスロン参加選手感想

白石博昭会員 (しらいし設計室 代表)



いやー終わってしまいました。TSC現役生活最後の全日本トライアスロン皆生大会が！

結果は昨年よりスイム8分、バイク16分、ラン5分それぞれ早くゴール。

順位も750位→629位にジャンプアップしました。とにかく加齢に逆行して昨年の自分に勝てたことが何よりうれしいです。何事も人とは比べてもしょうがありません。結局は自分に勝つか負けるかです。

ところで皆さん、いつかやりたいかと思っっていることありませんか？「いつか」なんて時間はどこにもないですよ。あるのは「今」だけです。要はやるかやらないか。やった後悔より、やらなかった後悔の方が何十倍も何百倍も大きいです。

さあTSCの現役若手会員諸君！トライアスロンに挑戦しようではないか！！

拝藤博幸OB (株拝藤塗装 代表取締役)



今回は、初めてリレーの部に出場させていただきました。今回の大会は、土岐OBの為に結成されたチームです。スイム担当ということで緊張しましたが、気持ちよく泳げました。何度かクラゲと遭遇しました。刺されることもなく泳いでいたのですが、折り返し後すぐに、ボラ(魚)を見つけ追かけましたが、コースを外れて捕獲を断念しました！そしてバイクの秋里さんにバトンを渡しました。さすが筋肉アスリート！速かったです！そして土岐先輩のランですが、予想以上に速くて明るいうちに3人でゴールすることができました。

とても楽しい大会を過ごすことが出来ました。スタッフ、ボランティアのみなさん暑い中ご苦労さまでした。

秋里武信会員 (水道屋あきさと 代表)



2年ぶり3度目、今年は『TSCチーム土岐』のバイク担当として、キャプテン土岐OBと拝藤新OBの3人で出場させていただくことができました。

日没までにゴール！と目標を掲げ、タイム11時間19分31秒と18時20分に無事ゴールすることができました。成績としましては、リレーの部61チーム中28位、個人としてはバイクラップ26位となんとか半分より上の成績で終えることができました。

これも大会当日、スタート・ゴールに駆けつけてくださった竹ノ内会長をはじめ松田直前会長、牧田県会長、そして朝早くからお集まりいただいた応援団の皆様、またボランティア部でお忙しいにもかかわらずエールを送ってくださった皆様のお蔭と、チームメンバー共々感謝の一言しかございません。本当に有難うございました。

後藤公平OB (有後藤屋紙器 取締役営業部長)



6年連続出場でしたが、今年もトライアスリートとの埋めようのない差を感じました。もちろん、リレーにはリレーの良さがあり、アンクルバンドの重みを感じながらチームメイトのために頑張るといことはとても素晴らしいことではありますが、ソロを目指さない(≒目指せない)うしろめたさが年々濃く溜まってきています。

運営側の一員として長らく大会を支えてきている青年中央会ですが、檜舞台で活躍する活きのいい若手選手の出現を期待して止みません。一歩踏み出せば道が拓けていくことはビジネスでもスポーツでも一緒です。白石会員のアプローチには見習うべき点が多いとおもいますよ。彼が卒会を迎えるこの1年の間に薫陶を受けてください。

第36回全日本トライアスロン皆生大会を終えて

実行委員長 荒川秀光 (オーエスサービス(株) 代表取締役)



青年中央会の皆さま、お疲れ様でした。選手・ボランティアの皆様が安全に、安心してトライアスロン活動ができることを祈念しつつ、「挑戦し続ける力」と題して、今大会の準備が始まりました。おかげをもちまして、第36回大会は大事なく終了することができたと思います。

中央会では伝統的にマラソン部・ボランティア部、そしてAS部の各部分かれて活動してきました。今年も、その底辺において、普段の例会や委員会活動において培った仲間同士の団結力、他団体との連携力、意見をぶつけ合いながらも責任を全うしようとする各会員の高い意識が存在していたことは間違いがありません。そして、数多くの人の応援に支えられ、西部青年中央会が皆生トライアスロン大会の中心的な位置にあることを改めて知ったように思います。東部・中部の皆さんにも駆けつけて頂きました。

後は、僕ができなかった宿題をみんなにやってもらいたいです。有難うございました！



AS部長 村田 博

(村田家(株) 代表取締役)



7月17日、灼熱の太陽の下、今年も熱い鉄人レースが開催されました。

皆様、こんにちは！AS部部長を務めました村田です。

AS部と致しましては、主に大会までのボラ部・マラ部のサポート、大会当日の参加選手への壮行会・エイドステーションでのボランティア活動を行ってまいりました。今年も他部との連携をはかり、またベテラン会員・新入会員、分け隔てなくオール中央会で活動することができたと思います。当会の継続事業として、何とか来年にAS部のバトンを渡す事ができると思います。最後になりますが、早朝にもかかわらず壮行会に参加していただいた新入会員の皆様、参加選手の皆様、AS部の皆様、大変お疲れ様でした。そして、荒川実行委員長・参加されました新OBの皆様、大変お疲れ様で御座いましたと共にありがとうございました！

マラソン部長 高塚康治

(株富士オートメーション 常務取締役)



マラソン部部長の高塚です。すべての会員の皆さま、どうもありがとうございました。今年のマラソン部もメリハリのある活動、やる時にはやる、楽しむと

きにはとことん楽しむ、をモットーに活動して参りました。マラ部の皆さん、今年もいっぱい笑いましたね。皆さんの活躍のおかげで、部長は前日当日ほとんどあたふたすることなく、活動できました。ありがとうございます。何より、大きな事故もなく無事に大会を終えることができたことに安堵しております。

トゥルルル、トゥルルル。「はい、高塚です」「高塚さん！看板抜いていないところがあるよ！」皆さん、すみません。協会から電話がかかってきました。看板抜いてきま

ボランティア部長 角田昭生

(東亜ソフトウェア(株) マネージャー)



昨年末にボランティア部長を引き受け、4月から実務隊員に入りました。

そこから長丁場となりましたが、忙しい中、ボランティア部の皆様には時間を

共有していただき本当に有難うございます。途中で時間の調整に悩み、本当に最後までできるのだろうかと不安にもなりました。ボランティア部は現役会員、OBの御支援、中央会以外の方で構成されております。各担当、また垣根を越えて積極的に作業を進めていただき、当日もトラブルが幾つか発生したのですが、各担当でしっかり対応いただき無事に終えることが出来ました。

今回の部長職では、時間の有効活用、大会当日最後の挨拶等、貴重な経験ができました。

最後になりましたが、マラソン部、AS部の皆様にも大変お世話になりました。御礼を申し上げます。

新入会員が見たトライアスロン

volunteer

向井幸紀 (株鳥取銀行 米子営業部 課長代理)

今回中央会の一員となり、初めて皆生トライアスロン大会に参加させて頂きました。ボランティア部に所属し、DM発送や封筒詰め、中海テレビ出演(弟との共演)、個人ボランティアの配置作業、備品洗い、看板立て、ボランティア説明会での司会など様々な準備に参加しました。何れも先輩のみなさんに教えて頂きながらの作業で、貢献できたのかは甚だ疑問ですが、自分なりに積極的に参加することができたと思います。大会当日もボランティア本部の運営に携わり長い一日となりましたが、終了時には達成感でいっぱいになりました。大会を通じて改めて中央会の団結力と行動力を感じました。次回大会も自分なりに全力で活動していきたいと思ひます。

佐嶋健一郎 (株佐嶋工務店 米子支店長)

新入会員応援団副リーダーとして、事前準備・当日はマラソン部として、今回初めて皆生トライアスロンに参加させて頂きました。大会当日までは備品洗い、備品運び、ポスター貼り、看板設置など、当日はエイドステーションへの機材持ち運び、最後の倉庫片付けなどを経験しました。

スタートした瞬間、海の中で待機していた選手が一斉に泳ぎだす姿には強烈な熱気とパワーを感じ、マラソンを走る選手の最後の姿には、このトライアスロンとの戦いに完勝しようと気力で走りぬく素晴らしさに感動しました。

個人的にも初めてのボランティア活動でしたが、今回の経験を活かし、中央会の活動と仕事に励んでいきたいと思ひました。

新入会員紹介

(積善委員会)		足立 鷹大 A型
	株八百屋トマト 代表取締役 青果・鮮魚 小売卸売業 〒683-0804 米子市米原1丁目10-57 TEL 21-5021 FAX 21-5025 (KT) 080-1922-7259 (EM) yaoya-tomato@rainbow.plala.or.jp S60.09生	

<コメント>

この度、入会させて頂きました、株式会社八百屋トマト代表取締役足立鷹大と申します。

私は、謙虚な気持ちを持ち、何事にも恐れず挑戦していきます。そして、皆様と共に成長していきたいと思っております。慣れない中、ご迷惑をおかけする事もあるかと思ひますが、よろしくお願ひいたします。

(政治・リサーチ委員会)		細田 雄治 O型
	南山陰食材加工 商品開発・販売SL 課長 農産物加工(カット野菜・野菜キット製造販売) 〒692-0024 安来市島田町2551-1 TEL 0854-23-1888 FAX 0854-23-1707 (KT) 090-7592-1969 (EM) tdgdc747@ybb.ne.jp S57.03生	

<コメント>

この度、ご縁がありまして入会させて頂くことになりました、山陰食材加工の細田雄治と申します。慣れない中、諸先輩方にご迷惑をおかけすることもあると思ひますが、何卒ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

(翔女委員会)		白根 和浩 A型
	鳥取瓦斯産業株西部支店 主任 L Pガス・高圧ガス・石油製品の販売 他 〒683-0802 米子市東福原6丁目1番22号 TEL 35-5311 FAX 35-5950 (KT) 080-2944-5868 (EM) : shirane@tottorigas.co.jp S50.12生	

<コメント>

この度、中央会に入会させて頂きました、鳥取ガス産業の白根と申します。

多方面でご活躍の諸先輩方より学ばせていただき、会の活動に少しでもお役に立てればと考えております。何卒、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひいたします。

武田 希 (株スペック システムグループ 副部長)

皆生トライアスロンボランティアについて、今まで地元の自治会で1時間程度のボランティアの経験はありましたが、1日を通しては初めての経験でした。

ASで活動をしている時、印象に残った一場面がありました。残念ながらリタイアしてしまった選手とボランティアスタッフの会話です。

選手：「ボランティアの皆様、色々ご迷惑をかけて申し訳ない。来年必ず戻ってきます！」

ボランティアスタッフ：「必ず戻ってきてください！ここで待っています！」

このやり取りこそ、皆生トライアスロンの魅力の一つではないでしょうか。リタイアした選手も、当日の為に苦しい練習を行い、完走したかった筈だと思います。「勇気ある決断」ではないでしょうか。

8月役員会報告

平成28年8月1日(月)米子市公会堂 第5集会室にて8月役員会が開催されました。議題は以下のとおりです。

- ・総会・懇親会開催報告の件
- ・8月例会開催の件
- ・9月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

8月例会案内

と き：平成28年8月17日(水) 19:00~22:30

と ころ：ホテルサンルート米子 第一部 芙蓉東
第二部 芙蓉西

内 容：パネルディスカッション

「大山とお地藏さまプロジェクトの展望」

納涼懇親会

担 当：第42期 積善委員会

編集後記

本格的に42期広報委員会も活動が始まり、「雄飛」第42号が最初の広報誌の発行となります。内容について自問自答を繰り返しての作成でした。

これから毎月「ハンサム」の発行をしていく中で、会の活動内容をお知らせし、会員一人一人を知っていただける広報誌を一つ一つ大切に作っていきたくて考えておりますので、1年間宜しくお願ひ致します。

(第42期 広報委員会 委員長 石原 効)